

ナンバリング	A②05	科目名	現代社会論<各論> 前期「多様な背景をもつ外国人」 後期「多様な現実を生きる外国人」		担当教員	鶴田真二	
ディプロマポリシーとの関連性	②・③・④		担当形態	単独			
テキスト	適宜紹介します。			単位数 授業形態	4単位 演習	開講時期	通年
<b>講義概要</b> <b>■到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が抱える問題について理解し、説明することができる。</li> <li>・日本人と外国人とが互いに支え合って生きていくにはどうすれば良いかについて自分の考えを持つことができる。</li> <li>・他者の話に耳を傾けることができる。</li> <li>・他者の立場から物事を考えることができる。</li> <li>・理想とする社会について自分の考えを持つことができる。</li> </ul> <b>■授業の概要</b> <p>世界には、生まれた場所、皮膚の色、眼の色、髪の毛の色、性、考え方、言葉、生活習慣、宗教などが異なる人々がたくさん生きています。日本もそうです。誰一人として同じではありません。では、異なる人同士が互いに支え合って生きていくにはどうすれば良いのでしょうか。本授業では、多様な背景をもつ外国人・多様な現実を生きる外国人を取り上げてそれについて考えます。前期は主に資料や映像を用いて外国人の抱える問題について学びます。後期は前期の学びを基に、フィールドワークを実施します。具体的には、外国人収容所を訪ね、そこに収容されている外国人と面会します。これらの学習を通して考えたことを整理し、最後に「理想とする社会」について自分の考えをまとめます。</p> <b>■授業計画</b> <p>第1回 オリエンテーション：「多様な背景をもつ外国人」について  第2回 日本人と外国人（1）  第3回 日本人と外国人（2）  第4回 日本人と外国人（3）  第5回 在留資格（1）  第6回 在留資格（2）  第7回 外国人収容所（1）  第8回 外国人収容所（2）  第9回 前期のまとめ（1）  第10回 前期のまとめ（2）  第11回 オリエンテーション：「多様な現実を生きる外国人」について  第12回 フィールドワーク事前準備  第13回 フィールドワーク（1）実施  第14回 フィールドワーク（1）ふりかえり  第15回 フィールドワーク（2）実施  第16回 フィールドワーク（2）ふりかえり  第17回 フィールドワーク（3）実施  第18回 フィールドワーク（3）ふりかえり  第19回 フィールドワーク（4）実施  第20回 フィールドワーク（4）ふりかえり  第21回 面会報告会への参加  第22回 後期のまとめ（1）  第23回 後期のまとめ（2）  第24回 全体のまとめ</p> <b>■準備学習</b> <p>【前期】  ・毎授業後に小レポートを作成し、学習内容を整理します。  ・期末にレポートを作成し、前期の学習内容をまとめます。  【後期】  ・フィールドワーク（事前準備、実施、ふりかえり）で考えたことを自分で整理します。  ・毎フィールドワーク後にレポートを作成し、ふりかえりで用います。  ・期末にレポートを作成し、後期の学習内容をまとめます。</p> <b>■評価方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での取り組み — 60%</li> <li>・レポート — 40%</li> </ul>							
参考文献	適宜紹介します。			特記事項	・通年で2回程度、本コースのテーマに沿った、上記とは別のフィールドワーク（土曜日か日曜日の予定）を実施します。 ・フィールドワークに要する費用は全て自己負担となります。 【課題等へのフィードバック方法】 ・レポートは確認し返却します。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修			幼保	教養科目		
実務経験のある教員等による授業内容							